

Mizuho Daily Market Report

2023/12/14

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	145.82	142.89	▲2.56	▲4.42
EUR	1.0785	1.0874	+0.0080	+0.0110
AUD	0.6552	0.6662	+0.0103	+0.0113
SGD	1.3443	1.3331	▲0.0083	▲0.0090
CNY	7.1846	7.1708	▲0.0064	+0.0102
MYR	4.7080	4.7075	+0.0235	+0.0385
THB	35.81	35.79	+0.13	+0.64
IDR	15661	15660	+0	+167
PHP	56.07	56.08	+0.48	+0.77
INR	83.40	83.40	+0.02	+0.08
VND	24280	24278	+8	+2

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.016%	▲18.4 bp	▲8.8 bp
日本(10年)	0.694%	▲2.7 bp	+5.5 bp
ユーロ圏(10年)	2.173%	▲5.3 bp	▲2.7 bp
オーストラリア(5年)	3.977%	▲1.5 bp	+4.2 bp
シンガポール(5年)	2.828%	▲1.4 bp	▲2.1 bp
中国(5年)	2.529%	▲0.5 bp	▲6.7 bp
マレーシア(5年)	3.641%	+1.8 bp	+6.6 bp
タイ(5年)	2.521%	▲0.5 bp	▲3.5 bp
インドネシア(5年)	6.695%	+5.9 bp	+15.0 bp
フィリピン(5年)	6.046%	+0.8 bp	+2.1 bp
インド(5年)	7.218%	▲2.1 bp	▲0.3 bp
ベトナム(5年)	1.900%	+25.0 bp	+0.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	37,090.24	+1.4%	+2.9%
N225(日本)	32,926.35	+0.3%	▲1.6%
STOXX50(ユーロ圏)	4,530.19	▲0.1%	+1.0%
ASX(オーストラリア)	4,112.17	+0.1%	+0.4%
FTSTI(シンガポール)	3,104.26	+0.1%	+0.6%
SSEC(中国)	2,968.76	▲1.2%	▲0.0%
KLSE(マレーシア)	69,584.60	+0.0%	▲0.1%
SETI(タイ)	7,075.34	▲0.7%	▲0.2%
JKSE(インドネシア)	1,448.04	+0.1%	+0.2%
PSE(フィリピン)	6,255.74	▲0.6%	▲0.8%
SENSEX(インド)	1,357.97	▲1.2%	▲2.3%
VNINDEX(ベトナム)	1,114.20	▲1.2%	▲1.1%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	259.11	+0.4%	▲0.2%
金	2,027.74	+2.4%	+0.1%
原油(WTI)	69.47	+1.3%	+0.1%
銅	8,259.75	+0.0%	+0.7%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	142.00	—	144.50
EUR/USD	1.0840	—	1.0950
AUD/USD	0.6530	—	0.6720
USD/SGD	1.3300	—	1.3450
USD/CNY	7.1250	—	7.1700
USD/INR	4.6400	—	4.7020
USD/THB	34.60	—	36.20
USD/IDR	15550	—	15680
USD/PHP	55.40	—	56.30
USD/INR	83.05	—	83.60
USD/VND	24,100	—	24,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は145円台前半でオープン。東京仲値にかけて145円台後半まで小幅上昇。一旦調整を挟むも、その後は再び下値を切り上げる展開。終盤にさらに上値を伸ばし海外時間へ渡った。アジア通貨は全般的に軟調推移。前日発表された米11月CPIが底堅い結果となりドル買い優勢となる中アジア通貨は水準を下げる展開となった。

海外市場のドル円は145円台前半でNYオープン。NY朝方に発表された米11月PPI、コアPPIヘッドラインが共に予想を下回り、145円台前半まで売られ、その後も145円台前半を中心とした推移が続く。NY午後にはFOMCにおいて政策金利を5.25%-5.50%に維持することが発表され、今後の経済、金利見直しでは来年には政策金利が75bp低下するとの見方や、24年と25年度のコアPCE数値が下方修正されたハト派の内容を受け、米金利の大幅低下する動きにつれ安となる。その後行われたパウエル議長の記者会見にても、「今日の会合で利下げのタイミングを協議した」と来年の利下げを示唆する発言が一段ドル安要因となり、142円台後半まで急落しクロスした。

【金利】

金利市場は、短期を中心に大幅低下。NY朝方に発表された11月PPI(生産者物価指数)は、前年比で予想を下回るなど弱めの結果となったが、FOMCの発表を控え、市場には影響薄。NY時間午後2時に発表となったFF政策金利は3度目の据え置きとなり、予想通りではあったが、同時に発表された声明文およびFEDメンバーの予想(ドット図)において、2024年末までの利下げ予測が3回(25bps x 3)となったことで、よりハト派の印象が強く、金利が急低下で反応。

【予想】

本日のドル円は上値の重い推移を予想。昨日のFOMCにおいて公表されたドットチャートにおいては2024年中に75bp利下げを行うとの見方が示されており、金利は大幅低下。マーケットにおける利下げ観測も大きく強まる中、ドル売り優勢の流れが継続しそうだ。

【本日の予定】

(日本) 10月 7機械受注
(日本) 10月 鉱工業生産(確) / 設備稼働率
(日本) 国債入札(20Y)
(アジア) 11月 インド 卸売物価
(アジア) 11月 豪 雇用統計
(アジア) 12月 豪 消費者インフレ期待
(アジア) フィリピン 金融政策会合
(アジア) 台湾 金融政策会合
(欧州) 11月 英 RICS住宅価格
(欧州) ECB政策理事会
(欧州) EU首脳会議(ブリュッセル)
(欧州) フランス ECB総裁会見
(欧州) 英 金融政策会合
(米国) 10月 企業在庫
(米国) 11月 小売売上高
(米国) 11月 輸入物価指数 / 輸出物価指数
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。